

# ゲノム編集を活用した新たな品種改良

養殖魚の品種改良を進めて、地域の産業振興につなげる

## 会社概要

企業名	<ul style="list-style-type: none"> <li>リージョナルフィッシュ株式会社</li> <li>リージョナルフィッシュの由来は「地魚」</li> </ul>
設立	<ul style="list-style-type: none"> <li>2019年4月10日</li> </ul>
社員数	<ul style="list-style-type: none"> <li>40名（うち、博士号取得者 20名）</li> </ul>
所在地	<ul style="list-style-type: none"> <li>京都市左京区吉田本町36番地1</li> <li>京都大学国際科学イノベーション棟</li> </ul>
資本金	<ul style="list-style-type: none"> <li>1億円（資本準備金を含めて26億円）</li> </ul>



可食部  
1.2倍UP  
飼料  
2割減

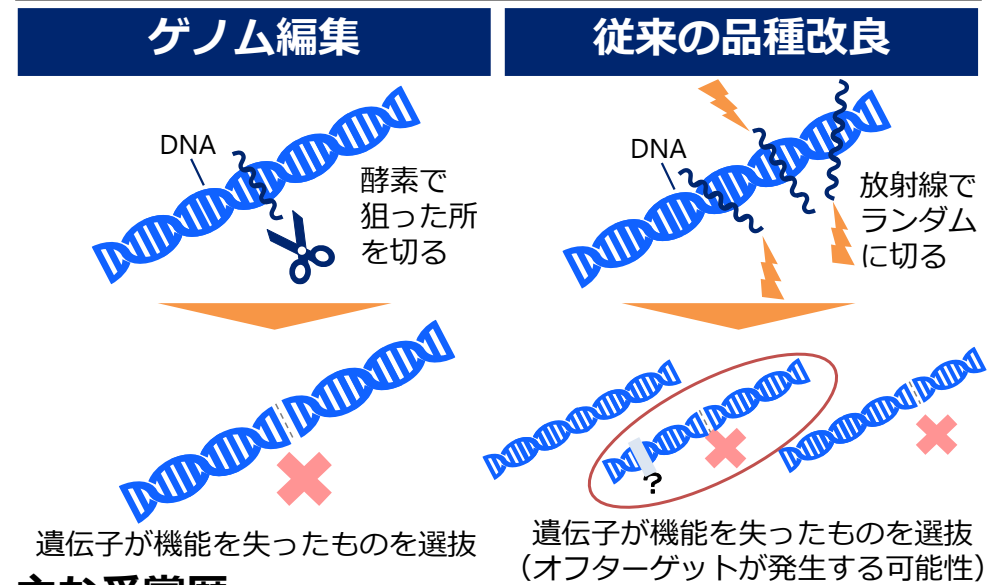


成長性  
1.9倍UP  
飼料  
4割減

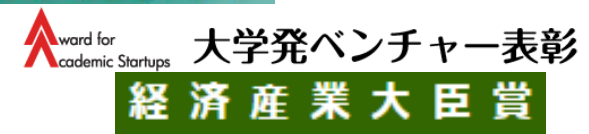


出所：各社HPより

## ゲノム編集技術で品種改良のスピードアップ



## 主な受賞歴



# Q&A

## Q. ゲノム編集魚は安全なのか？

A. 弊社のゲノム編集魚は、酵素を用いて狙った遺伝子をピンポイントで切ることによって生じる、**自然界でも起こりうるわずかな遺伝子の変異を品種改良の形で利用**しております。これは従来の品種でも自然に起こる範囲の変異であり、**科学的に安全上の特別な問題が起こることはない**と考えられております。さらに、実際に流通する前に、**科学的なデータを揃えて厚生労働省への事前相談**を行っております。厚労省は「薬事・食品衛生審議会」で各界の専門家の意見を聴きながら、様々な観点から食品としての安全性を審議し、**問題がないことが確認した上で弊社からの届出を受理して厚労省のHPで公表**しております。そもそも食品の安全性に問題があれば食品衛生法で差し止められます。

## Q. 生態系に与える影響はないのか？

A. **従来品種で自然に起こる範囲の変異**であり、生態系への影響が危惧されるような品種ではありませんが、魚は陸上養殖施設で飼養し、さらに水槽内には筒状ネットを備え、排水溝には逃避防止用ネットを二重に設置するなど、**魚の逃亡を確実に防止**しております。

さらに、生態系への影響に関するデータを揃えて**農林水産省への事前相談**を行っております。農水省は専門家の意見も聴きながら、生態系への影響がないことを確認した上で、農水省のHPで公表しております。

なお、排水についても、生態系や環境に悪影響を与えることがないよう、**定期的に水質測定するとともに、環境関係法令を遵守**しております。

## Q. オフターゲット(予期せぬ遺伝子を切ること)により有害物質を作り出していないのか？

A. 上記の手続の中で、オフターゲットが生じていないことが科学的に確認されております。